

日本生命

質問

担当医からがん遺伝子パネル検査を勧められました。がん遺伝子パネル検査は何をいつ行われるのですか。

遺伝子パネル検査



上原 久典
徳島大学病院
病理部長

回答

がんは遺伝子の異常が原因で起きる病気です。遺伝子の異常にはさまざまな種類があることがわかってきました。がん遺伝子パネル検査は、複数(多いもので数百種類)のがん関連遺伝子を1回の検査で調べることができま

す。保険適用となつている治療薬が適応するかどうかの判定、標準治療がない患者や、標準治療を終えた患者に対し、別の薬物療法の可否を判断する材料などに用います。

がん遺伝子パネル検査には、検査目的で採取されたがん組織や、手術で摘出されたがん組織のうち、保存されている物を使用します。

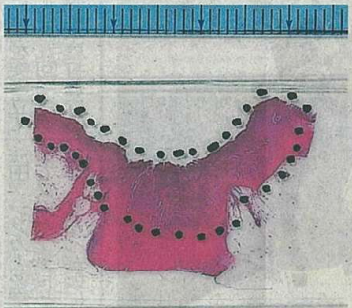
これらのがん組織は、ホルマリン固定された状態で病理検査部門に提出されます。組織はパラフィンに埋め込まれ、パラ

採取・保存組織を使用



フィンブロックと呼ばれる。

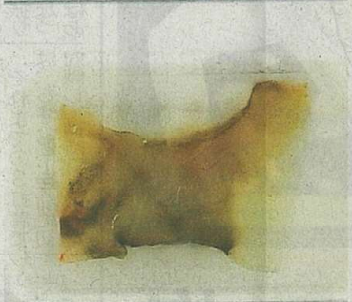
専門の臨床検査技師が特殊な装置で薄く切って、切片をガラススライドに乗せて、染色します。それを専門の医師(病理医)が顕微鏡で観察。がんで間違いないか、どんなタイプのがんなのか、手術検体なら、がんがどれくらい広がっているかなどを診断します。



がん何でもクイズ
がん治療の基本は『〇〇〇〇・早期治療』です。〇〇〇〇に入る言葉は何か。
①早期発見②創意工夫③軽い運動
行こうよ！がん検診

パネル検査は、組織からDNAを抽出して検査に用います。

一つはDNAの質で、組織をホルマリン漬けにするまでに時間がかかったり、ホルマリンに漬けた時間が長すぎたりした場合や、ブロックの保管



がん組織からのDNAの質や量が不十分な場合は、新たながん組織の採取が必要になることがあります。

期間が3年以上経過している場合は、DNAの破壊が進み、検査がうまくいかないことがあります。もう一つはDNAの量の問題。多くのブロックには正常細胞とがん細胞が含まれています。必要なDNA量はパネルによって異なるものの、赤血球や変性した細胞を除いた全ての細胞の中、がん細胞が占める割合が20%以上ないと、がん細胞の遺伝子異常の診断が困難です。

適応治療薬判断に活用

【上】がん組織のガラス標本(点で囲んである部分にがんがある) 【下】がん組織のパラフィンブロック

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前8時半から午後5時まで)へ。

